○北漢・契丹、夜遁る。藥元福、窮追せんと欲す。王峻、之を止む。

し、且つ師を乞ふ。○李存璵、圍柏を擊つ。周契丹主立つ。叔父之を復以て事に亭に。○敗る。契丹、燕薊遣は禹を將ぬ、厥を兵を北漢主に會し晉州を攻むす。大克を周にて攻の雪ふ。にた食に周に乏り兵將とし至らんとす。

什丹の三士四馬契遁燒き、る。て營を夜を聞き

希に錫に邊ふ唐れ希とたれる衡等○徐威す。山立に廖○師高、人弑高○彭師多す。王て希夢と共に偃ず。人とす君を公爲衡朗州・梁山の逼て荒淫にし妄し。爲らのを公なら

崇、至る。使

和せず。希崇、

希に崇、使

希に錫に邊ふ唐れ希とたれる衡等○徐威す。山立に廖○師高、人弑高○彭師多す。王て希夢と共に偃ず。人とす君を公爲衡朗州・梁山の逼て荒淫にし妄し。爲らのを公なら

崇、至る。使

和せず。希崇、

玄默困敦	二、丁亥。四、丙戌。六、乙酉。八、甲申。十一、癸丑。二十七日、冬至。○本志に、四月丙戌	
二	○大梁城を修む。慕容彥超反す。曹英等に命じて之を討たしむ。○張令彬、唐の兵を沂陽に敗り、燕敬權を獲たり。彥超、勢沮む。○王峻、李洪信の兵を奪ふ。洪信懼れて入朝す。崔周度、慕容彥超を諫めて死す。○彥超、閻弘魯が財を匿せる	
五	兵を遣はして周の府州を侵す。折德扆に敗らる。○德扆、入寇し、嵐軍を拔く。	北漢主を喪ふ。始め遼に取を息を進む。○北漢は土瘠せ民貧し、內は軍國に供し、外は奉じ、賦繁く役重し。多くて民逃れ境を入る。
		王の母吳氏卒す。
劉言	唐、劉言を召して朝せしむ。言、行を逢と・周行王逢行を入て行かず。潭州を擊ち謀る。○行逢、	○恆、降狀を送るを跋扈を遣はして軍を犒ふ。○恥づ。○長沙に鎬、入り、希崇・希夢を送る。希に隱、桂州馬希に奔て唐に奔て唐る。嶺南、皆、南漢に入る。
十	孫朗・曹進、亂を作し、邊を鎬を攻め、克たず、朗州に奔る。○孫朗謂ふ、唐は、朝には良臣無く、	
十五	大水、成都に入る。溺死するもの五千餘人。○王承丕、詔を矯めて郭鈞を殺し、延を東川	
十	唐の侯訓・張籌、桂州に寇す。訓を殺し、籌を走らす。○王逵、彬州に寇す。潘崇徹、之を	
九月よりは後以第卷二		

朔、食す。七月乙丑、熒惑、井鉞を犯し、八月乙未、天鱉を犯す。九月辛酉、太白、庚辰を犯す。右執法を掩ひ、十月壬辰、進賢を犯す。

を疑ひ、其夫妻を掠殺す。○北漢、府州に寇す。折德扆、之を破る。○德扆、燕敬權を唐に歸して曰はく、叛臣は天下の疾む所なり。唐主、之を助くるは、計に非ざるを得んやと。唐主、慙恧ぢ、亦、中國の人を歸す。○鄭仁誨、樞密に副たり。○帝、慕容彥超、自殺す。之に克つ。○帝謂ふ、孔子は百代の帝王の師なり。敢て拜せざらんやと。○馮暉卒す。子繼業、代りて朔方に鎮す。○李濤、蕭海眞に說き、幽州を以て內附せしむ。○王峻、事を言ひ、帝、之に喜び、從はざれば則ち輒ち怒る。帝、之を優容すれば、從へ峻、鄭仁誨等を嫉み、疾と稱し、鄭仁誨、龍めんことを求む。帝、自らめて之を迎へんと欲す。始めて起つ。○高行周、勇にして而も義を知る。○初めて鹽麴を犯す刑名を減す。○北邊の契丹を俘掠するを禁ず。○契丹の高模翰、冀州に寇す。何福進、拒ぎて之を却く。

張文表・潘叔嗣と成功す。○行逢、酉を召荷逢、彥通、蠻を通ず。○王逵、益陽を拔き、沙、長を克つ。○等、逢を拔く。○益州の岳蒲公を擒に、唐の苦を將て城を走る。弃て、盡く復す。故地嶺を北に徹ひ、州を逵に、南潘と將め、漢崇攻彬石戰言る蠻敗に、治を湖朗南請ふ。

軍には良將無く、忠佞分たず、賞罰當らず。○周延寵、周の超の慕容來援を求むる。○兵を遣はして、之を沈敗す。燕周の敬權れ、陽に助けて、所を獲る。周權を歸敬す。韓熙載、周に淺而爲す。周は國を有つこと治しくなりとなる。○固執して丹と契を以て用し、徒に語往を爲す。唐の來を請ふ。○李建徽、石に孫欽を誅す。李延周を奏聚を周に、謀に、據る。之を討す。○王逵、人を關し、中に、兵を奏とを請ふ。蠻を八十里に伏す。石に敗る。尸を虛す。

○契丹の饑流民の、塞に入る者、數十萬口。○李穀、臂を病み、筆を執る能はず。詔して、名印を刻して之を用ひしむ。○敕して、民の訴訟は、必ず縣州觀察使を歷て、乃ち臺省に詣らしめ、書する能はざる者は、素紙を執るを聽し、已の事に非ざれば、訟ふるを得る毋らしむ。○野雞族、反す。之を討つ。○劉言、湖南を復するを告ぐ。○李穀請ふ、田畝の稅の牛皮を以て、民の私に賣買するを聽さんと。○河、鄭滑に決す。○帝、買寶物を受けず。○徐台符、惎延遇・李澄を誅せんと請ふ。○麟州の楊重訓、欵を歸る。

州に移し、貢獻、茶、悉く賣る。馬氏の如くせんと周人に許す。

雅、諸國盛なり。○唐、文も初めて貢を寧ぎ置て之を尋ぎ罷む。○馮延巳・徐景晟、爲と孫・晟、爲相連る。○蕭做、延巳を攻む。延巳、其を救ふ。○唐主、桂朗の兵を罷めんと欲す。○張佖、侯訓、桂を攻す。延巳、可す。○州訓、走す。

李建徽、家を戒む。

留す夢○可用兵主罷己○として鏑○に復走陷て兵○入南鏑謂○勿禦で砕土む。馬とざ終ふ、孫。鳴す和謂南ろ湖言鏑をげ、 は湖邊廣。すのてじ
し。之入 ろ身、唐成延。尚ひ、。南言鏑をげ、 は湖邊廣。すのてじ
な朝希

法丙將月な熒四○日分二朔十七五三二正　奮　昭
た申を辛紀惑、乙志至一日丁戊己庚辛壬　若　陽　赤
犯、犯已し、靈玉に。九春。の　　　

○柴榮を以て開封の尹・晉王と爲す。

○○鄒仁誨、潭州に鎭す。官軍、牛族、迎へて官軍に餉す。殺之を掠む。遂に野雞族と合し、張建武を包山に敗る。

○魏仁浦、私憾を以て鄭元昭を廢せず。

○王仁鎬、樞密に副たり。○常思進が舉ぐる所の絲、帝悉く以て民に與ふ。

○○契丹の田敏、張藏英、來降す。○○○王殷、九經を刻し、板成る。入朝す。之を止む。○唐の民が淮北に糴するを聽す。舟車を以てするを得る毋し。載する

○○○滑州、決河を塞ぐ。○契丹、樂壽に寇す。○○帝、風疾を得たり。術者言ふ、宜しく財を散ずべしと。乃ち郊祀せんと議す。○圓丘・太廟・社稷の諸壇を大梁に作る。○洛陽より至る。帝、郊迎し主、廟に祔饗す。○賚を設け、入朝す。何福進、其の專横なるを言ふ。○王殷、府州に寇す。折德扆、擊ちて之を却く。○契丹、帝、王殷を執へて之を殺し、誣ふるに反を謀るを以てす。○帝、太廟に饗し、纔に一室に及ぶ。晉王、禮を終る。

張敞を譖し、之を殺す。○朗州の逵、朗州を襲ひ執へて之を尋ぎ殺す。

○府を復た潭州使に移し、周行逢、朗州を知たむ。

○鹽盤容の崇に、柳寇州を寇す。

流さる。○馮延魯、徐鍇、諸州を巡撫せしむる。亦た坐せらる。

閼逢攝提格

正、丙子。二、乙亥。四、甲辰。六、癸卯。八、壬寅。十一、辛未の朔。

顯德元

帝、圓丘に祀り、僅に能く瞻禮す。赦し、改元す。

○鄴都を罷む。○晉王、內外の兵馬に判たり。○軍士、流言す。帝、諸將が主の勳儉を念ひ・己の功にして賞を受くるかを思はざるを責む。乃ち止む。

○曹翰、晉王に勸む、入りて醫藥に侍せよと。皆、晉王、奏稟して宜行す。

○大事は、樞密と爲る。○鄭仁誨、命じて紙衣瓦棺以て葬らしむ。

○帝、決河八口を塞ぐ。○帝、王溥に命じて相と爲し、曰はく、吾、恨無しと。

○王仁鎬、鎭に出づ。○帝、李重進に命じて晉王を拜せしむ。○帝、殿を巡む。

○世宗、位に卽く。○契丹と興に、團柏北漢主、穆令均敗れ死す。馮道より入寇せんと欲す。○帝、親征せんと欲す。諫めて曰はく、陛下能く唐の太宗及び山と爲らんや否や。○北漢の兵、潞州に逼る。苻彥卿に命じて東より入り、王彥超をして西より入り、樊愛能、周弘俶に天下都元帥を加ふ。

七

北漢主、周の太祖の殂せるを聞き、謂へらく中原、圖る可しと。契丹の楊袞と兵四萬を合はせて、南の柏に出づ。○昭義の兵を敗り、其將穆令均を殺す。○北漢主、潞州を環りて南し、周に高平の南に遇ふ。○楊袞、周の陳を覘て曰はく、未だ輕々しく進む可か

遠、表し、復た朗州に治んせんと請ふ。○遠、潭州に遷り、周に行逢を以て知たら潭州にし、朗州、苻彥通に說き、王號を去りて遠の命を受けしむ。遠曰はく、一虜の言は數萬の兵に勝る。○王虜、表して西界都招討使と爲す。○劉瑫を簡率して湖南を以て逢、勤儉周行

十二

十七

安思謙、驕横を以て誅せらる。○孫漢韶の軍職を罷め、李延珪等十人に命じて、分ちて禁兵を典らむ。

十一

交趾の吳昌文、來り請ふて命を以て海節度使と爲す。○高王弘逸を殺す。

五月より以後は卷第二百九十二

能等をして澤州に趣き、以て之を禦がしむ。

○帝、道を倍して進む。趙晃・鄭仁謙謀む。之を械繫す。

○北漢主と高平に遇ふ。漢の兵甚だ衆く、衆懼す。帝の氣益〻銳なり。戮愛能・何徽先づ遁る。帝、危急なり。親ら矢石を犯して戰を督す。太祖、張永德に謂ふ、社稷の安危、此一舉に在りと。相與に力戰す。

○馬仁瑀曰はく、乘輿、敵を受けば、安んぞ我が輩を用ひんと。

○馬全乂曰はく、賊勢已に極まれり。將に我が擒と爲らんとす。願はくは陛下、轡を按じ、徐ろに諸將が賊を破るを觀よと。

○張元徽を大に敗る。

○北漢の樊愛能等、劉詞に遇ふ。之を止む。

○又、北漢の兵を敗り、王延嗣を殺す。愛能等、大捷を聞き、復た還る。

○張永德、帝に勸む、法を行ひて以て軍旅を肅にせよと。帝、愛能等七十餘人を誅す。將士始めて懼るるを知り、姑らずと。

○北漢主曰はく、妄言する勿れと。

○將に戰はんとし、東北風轉じて南風と爲る。王得中、馬を扣へて、諫むれども從はず。

○張元徽先づ周の右軍を犯す。右軍潰ゆ。主親ら戰を督す。

○張元徽、勝に乘じて陳を略し、馬倒れ、周の殺す所と爲る。北漢の兵大に敗る。

治民便行之吏を。
む。ふ。逢馬氏謂
奢、
靡、
に父子
子孫、
を、乞、
食ふ、
て、
効ふ、
ら
ん
に又
足
や
と。

息の政を行はず。

○有功の將校數十人を賞す。

○苻彥卿・王彥超に命じて、晉陽を合攻せしむ。

○汾州の李太后殂す。

○遼州降る。

○太祖、葬を葬る。

○北漢の民爭ひて周の軍を迎へ、泣きて劉氏の賦役の重きを訴ふ。軍士、之を掠む。民、望を失ひ、更に山谷に保す。

○李穀に命じて、軍食を供せしむ。

○馮道卒す。

○嵐憲州降る。

○苻后永德を立つ。

○王彥超、石州に克つ。

○沁州降る。

○帝、晉陽に如く。

○忻州降る。

○帝、晉陽に至る。

○鄭處謙、楊袞を拒ぐ。袞、契丹に奔る。處謙、代州を以て降る。

○契丹、忻代の間に屯す。苻彥卿等を遣はして忻州に屯せしむ。

○桑珪等、鄭處謙を殺す。

○史彥超、契丹と戰ひて死す。

○折德扆、來朝す。以て永安節度使と爲す。

○帝、晉陽を攻め、克たず。會〻久しく雨ふる。引き還る。

○藥元福謂ふ、軍を進むるは救はず、軍を全くして退く。

○北漢主、餘兵を收めて澗水を阻つ。又敗れ、王延嗣死す。

○北漢主、鵰窠嶺より北に遁れ、晝夜息はず、僅に能く晉陽に入る。

○楊袞、代州に屯す。

○王得中を遣はして救を契丹に求む。

○汾州・遼州・周に降る。

○嵐州・憲州、周に降る。

○易、軍を退くるは難しと。○得る所の州縣、復た北漢に入る。○帝、嵩陵に謁して歸る。○高錫、帝が細務を親らするを諫む。○中師厚、擅に河西を棄てて歸る。之を黜く。○景範、相と爲る。○竇貞固、司徒の課役を罷め○編戶に同じくす。○王晏、鎭國軍を廢す。舊盜をして盜を止めしむ。○安遠・永清軍を廢す。○帝謂ふ、兵は精を務め、多きを養ふを能はず。百農夫、一兵を容れんや。乃ち大に諸軍を選練し、驍勇を進め、羸老を向ふ。士卒盡く精にして、皆克つ。○專使の巡檢を罷め、州縣の捕盜を責む。○李穀、澶鄆齊の決河を塞ぐ。

○周の王彥超、石州を拔く。○沁州、降る。○忻州、降る。○周主自ら晉陽を攻め、克たずして去る。○王得中曰はく、家國兩つながら亡ぶ、吾獨り生くとも何の益あらん。○周、得る所の州縣を棄つ。惟だ桑珪の代州に據りて、下らず。攻めて之を拔く。

旃蒙單閼		二、庚子。四、己亥。五、戊辰。七、丁卯。九、丙寅。十、乙丑の十一月。閏九。朔。一日、小雪。○本志に、二月庚子朔、食す。
周世宗榮顯德二	○北漢憂憤主、疾を成し、國事を子承に委ねれ、尋ぎて殂す。承丹、契を立て鈞す。帝名を改めて鈞と爲す。	李彝興、折德扆と竝び列するを恥ぢ、周の使を絕つ。宰相、之を撫せんと請ふ。帝曰はく、德扆は忠力あり、安んぞ弃つ可けんや。夏州は羊馬を貿易し、悉く中國に仰ぐ。之を絕つとも、何か能く爲さんと。○初めて令錄を擧ぐ。○王彥超に命じて胡盧河を浚はしめ、以て契丹を限る。○群臣に詔して、得失を極言せしむ。○帝、天下を削平するの志有り、先づ秦鳳を取らんと欲す。○大梁の外城を展ぶ。○近臣に詔して、君と爲るは
北漢孝和帝鈞乾祐八		周、我に命じて、同じく唐を擊たしむ。
十三	嚴續、相と爲る。○吳延緣、淮を淺を把の紹、罷むる。劉之仁、贍を爭へど、得ず。○周、師を入す。○劉彥冠の貞等、命じて之を禦がしむ。	
十八	周人、秦鳳を取らんと謀り、趙季札を遣はして邊備を視せしむ。季武、文札を以て自らを任じ、言は將に不才、邊請なり。代ふるに之を行ふ。	
十三	通王弘政を殺す。	

難く臣と爲るは易からざる論及び邊を開く策を獻ぜしむ。○王朴謂ふ、攻取の道は、宜しく先づ內政を治むべしと。又謂ふ、唐は先づ取る可し。河東を以て後圖と爲さんと。○王景を向訓等に命じて秦鳳を擊たしむ。○諸寺の敕額無き者三萬餘區を廢し、私に僧尼を度することを禁じ歲ごとに囚を錄し、其の寃なる者を直くす。長吏始めて獄訟を親らす。○胡立、張美が潭州に在りしとき、其の私求に徇ひしを以て、終に公忠を以て之を待たず。○宰相、西師を罷めんと請ふ。許さず。○景範罷む。○置き、錢を鑄、民間の銅器を禁じ、佛像と雖も、亦之を消す。○帝曰はく、苟くも善に志さば、是れ佛を奉するなり。朕が身、以て民を濟ふ可くば、亦、惜む所に非ずと。○張建雄、蜀の王巒を擒にす。巒を黃花に敗り、之を擒にす。蜀の兵退き青泥を守る。○趙玭、秦州を以て降る。○成階、二州を取る。○帝、王溥が將を擇ぶの功を

○宋齊丘召し、難を謀る。○義殷、知樞密崇唐壽に、州の城下に、又、敗る。○周兵、山口に敗る。

○王昭遠に命じ、北邊を按行せしむ。○秦鳳周人、寇を高延彥に命じて等。○鳳翔人、寇を李守貞に命じて等。○趙季良、恐れ懼て、歸り、斬る。○札德陽、主を奔る。○周の武帝、蜀を伐つ。○胡威、師を立て、城を執る。○黃花王巒、周に敗れ、擒る。○珪、高延琳に、敗る。○珪、琳を擒にす。○李守貞、黃花に敗れ、退き、泥保

美とす。○帝、珍膳を享し、自ら、功無きを愧ぢ、謂へらく、親ら矢石を冒さば、差や自ら安んず可しと。○李穀・王彥超に命じて唐を伐たしむ。○帝、武德に命じて、汴流を疏導せしむ。行德、必ず怒に因りて人を刑し、喜に因りて人を賞せしと。○帝稱す、朕、必ず怒に因りて人を賞せしと。○又謂ふ、京城を廣くし、存沒怨み怒るは、朕自ら之に當らんと。它日必ず人の利と爲らんと。○王景、鳳州を拔き、王環を擒にす。○蜀の兵の・留まるを願はざる者は、資裝を給して之を遣る。○王彥超、唐の兵を壽州城下に敗る。○白延遇、唐の兵を山口に敗る。○鄭仁誨、卒す。上、歲道を避けず、之を哭す。

柔兆執徐	三	近畿の民夫を發して大梁の外城を築く。
	九	世祖を葬る。
	吳程、唐の襲常州を請ふ。元とは	
	周行逢	周、王逵に命じ、
	十四	李穀、壽州を攻
	十九	李延珪、十軍を兼
	十四	林延遇卒す。國人
よ月	三	

つ。韓繼勳、奉州を奔て還る。奔りて奉州を棄て、階、秦成、皆降る。周に、李延伟・審琦・罪を之を請ふ。微釋す。○珪、錢を鑄る。○鐵を鑄る。○周の王鳳、州を景を拔き、環を虜を王を擒にす。

周初めて王朴の欽天曆を用ふ。二、
甲子。四、
癸亥。五、
壬辰。七、
辛卯。八、
庚申。十一、
己丑。十二、
戊朔。冬
至。

○上自ら將として唐を伐つ。
○李穀、壽州を攻め、久しくして克たず。唐の援兵將に至らんとすと聞き、浮梁を絶たきて正陽を保つ。帝聞きて悅び、李重進をして兵を引きて退かしむ。唐の劉彥貞と、正陽の東に戰ひ、之を斬る。
○帝、正陽に至り、重進を以て淮南度支に代り、首萬餘級。
○帝、穀に帥として李壽州に至り、之を圍む。
○帝、浮梁を下し、之を徙す。
○正陽の浮梁を襲ひて之を焚く。
○太皇甫暉を下つ。
○遂に滁州に克つ。
○擒に叩く。
○宣祖、夜半に城門を叩く。
○納れず。
○太祖に絹を與へず、儀、之を重んず。
○太祖、故に甲鎧を以て自ら異に主す。
○唐主、書を致し、兄事せんと請ふ。帝、答へず。
○帝、韓令坤を遣はして、楊州に戒むるに民を殘ふ勿きを以てし、李氏の陵を守護す。
○唐主、鍾謨・李德明を遣はし、表を奉じて臣と稱し、以て帝を請ふ。我は六國の愚主の遊說す可きに非ずと。二人、

德昭、以て不可と爲す。程、固ふ。之を乃ち程を遣はし、諸將を督して常州を擊つ。
○士卒、昭を擊む。
○德、欲すと弘俶、以て不祥と爲す。
○唐の宏程、營を襲ふ。羅晟、柴澤を獲た。
○郭仁、入り、趙宣路を遣はして攻めむ。
○呈程、常州の外に出でて、路彥銖、程銖と聞き、亦引き還る。
○福州の唐の兵、南臺に敗る。
○境內の民、錢を括して弘億に課す。
○唐の克程、其の官を奪ふ。

唐の攻の鄂州を得たり。
○唐の鄂州を攻めむ。
○遠、潘岳を過ぎ、叔の潘岳に謹んで信を疑ふ。
○唐の長沙を攻め、之を拔く。
○唐の樂山を攻め、之を左右に左むと事ふ。
○周の嗣、王を西陵に追ふ。
○唐の叔、之を武昌に還し、軍を襲ふ。
○唐の叔、城を攻ふ。
○唐の叔、敗れて死す。
○叔、逆に戰ひ、之を敗る。
○周の嗣、叔を逆に行ひ、之を殺す。
○唐の叔、周を行ひ、之を誘ふ。
○唐の叔、至り、之を逆ふ。
○唐の叔、怒り、之を逆ふ。
○唐の叔、行を意とし、謂ふ。
○唐の叔、軍を以て謀る。
○唐の叔、司馬を爲す。
○唐の叔、我が同じ、天下を如ばせ、此の行を逆ふと曰ふ。

潭州を得たり。
○周の嗣、叔を逆に行ひ、之を敗る。
○周の嗣、叔を逆に行ひ、之を敗る。
○周の嗣、叔を逆に行ひ、之を敗る

ひしを○帝○兩○○ざ〻○ん上つ立
ん。治陳怒唐軍李入ろん上つ
と安も轉り、鰯疑逆殿思何ふ、
ぞをふ孫丸な匪前入謚王
飛以、孫を以陳永都と侯者
升で陛を○憲指の揮 ・の信
黄務下殺永の 臂使 心を
白と當 ・憲 を に 誘 失歸ふ
の爲に 憲指 心を 至爲 歸ふ
を す天 の揮 に り る。 せ母
用べ下 ふ。 を 。

り司ひ非○周雅○せ而○す雄吾目さす
。空 檢を及す節徐。を遂、 は を
た校用 、。た仲 滅 は を 、て

ゥ孫德李○とて剿丘○す人江め來遣王李ふ人周き六蕭○ろ周蘧○とに則をべ
、歳明徽陳爲益く、北 と北 譚ら し質明主請せて剿の 降、舒 人帝ば之
言を及古壓す無を地 朱 は崇德。周と和以を等主 欲得くしてを・ 、請せて剿の 降、舒 人帝ば之
は惡び、・。し以た齊

○○儒り○○に守○す民の○○○攻○質○諫に○○に○に○○始て○を楊○
初王ろ、惡欽巷者尚 。、師唐舒狩め帝、帝至帝尚敗太敗轉帝め克帝折州太
め朴。鐵來天くに訓屢山を の轉后し 之 、帝、てら 訓る。祖り令、でた、す蕭人兵六、
で、 緩憲屑 し澤迫民和 、め李を 簒止人渦 、坤 、蕭州師大を。養と。過に合
夏 を、成 、揚周にふ爭州狙す大逆ひを。殺に南 唐陸 の孟唐に を に攻 ぐ也し
秋 作唐る。 、州の保。ひ復 。梁を、殺 す如の 齊俊の如班間め、 ろ者て
殺に り、兵 兵の師す師でた 。梁を 留免き 。き帥 王を兵く、すふ、 者て
の副 を府を 。人牛唐 に 還めろん 范、と 墓樽を 。を り久 、
起た 以を 引庫敗白、酒入 きなる甲暴を入 ろ。蕭を欲 で封。筆掠以る 蕭じ 州得す 州で 爲。周 を 達に楊 議樞し 泣ら る。 楊。 す州 す。少く は、目
徴り。 で下 浮に 梁に敗 を 壽じ と す で 。 を 。 を 。 六。の 合 東 。し し 共 足、
隈を 。

て其○とし 暫ら く○人下何す先はしら○ら府にりか諫嚴の氏○とに表○すて之
吏埒行。易逃、 鑛目。著以ば輪 ゐで、せ、公目輪自 入、堅囚聽を た逢鄧。人州文 諫
と を遂、 し 匿村有は

相はふ延○請奏し湖き周遣王○り之も契以○を神○す範唐を く延き州のき秦
に當、已晟ふぜ正南 、に し質成 。を周に救丸く、秦 族、州 腰、す男 か光せ。
在に此に 。人朋に兩 。を 捜人、求を を 。州合 廟延 。字盡 。遷潤貨如
ろ左行謂馮 と を比浙如、を・ た、求を を 。州合 廟延 。字盡 。遷潤貨如

し前遣む代柴遣古○ん必ば退逆に燕○る口越て負るず王澤○斬主むて國く、
めみは。弘ら克は、李とず、きめ謂王趙。を王すくに、えに拜責利を德明、
、戰し宏し人。亂所歸自ふ弘鐸、冀、扶其吳以にむせ見越仁。を約賣を寶り
而はて冀、しにて微部ら冀、趙。之を唐求

して之を奏す。○克宏、使斬者微古の宏、を曰、李樞は、李ん密來ら吾、亦之に、斬。ら克宏、常。を程に敗る。○吳州齊、王景を周。達將ねて兵を監壘を以て諫と軍を陳韓を熙戴、拒ぐ。周を爲す。む。祐潘、承仁薦。鑒等、李を。む。○俊を取陸泰孟州。俊、東、。楊孟州の俊に、周の敗擒れに

す。○爲る所と
達○齊六王景合。
に○敗る海の臺江。
禍南州陳南兵、
を○に命じて復せ
敗朱元に江
る元北
し
元
・
和
州
舒
州
。
○を取る李州を平を取、
薪州
る
。
淮南の田
○民苦しみに争ひて牛を以て周酒の迎を師ふ。
周の楊將
滁守の城を去て、
○守て城を弃て、
る
丘○宋諸將齊

彊圉大	
四	
天會元	
十五	に、自らて、守り、周の師を擊つを得る母し。ら。む。○壽春の圍益急なり。齊王景濠州達、軍政に、皆、陳疊に田林仁蔡下肇に敗る。蔡に孫晟、死。周す。○營田の尤も民を害する者を罷む。陳處を害す。○堯、師丹に乞を契へど も得ず。
二十	
十五	

荒落

一、戊子。五、丁亥。六、丙辰。八、乙卯。九、甲申。十一、癸未。十朔。二十四日、冬至。

上、功臣の子未だ恩を加へざるを以て、皇子を王とせず。○唐の許文稹等、壽春を救ひ、甬道を築きて、之に餉す。李重進、擊ちて之を敗る。○李穀、帝に勸む、親征せよ。必ず壽春に克たんと。○聶崇義、禮器の制度を討論す。○帝、南征し、水軍を教成す。○太祖、唐の甬道を絶つ。○唐の朱元降る。諸將大に唐の邊兵を榮金山に破り、許文稹・擒す。唐の兵、東に擒ゆ。帝、諸將と與に、水陸之を追ひ、一日に行くこと二百餘里、鎮淮軍に至る。○蔡の浮梁を渦口に徙し、下蔡を爲る。○帝、下城を以て來降す。○蔡に如く。○壽州の將佐、劉仁贍の表を復た清淮を以て忠正軍と爲す。○韓令坤の父、法を犯す。死を免し流す。○柴守禮、人を殺す。有司、敢て詰らず。○帝、大梁に還る。○帝、役徒が木柿を以て瓦に食す。督役者を斬る。○懷恩軍を遣りて蜀に歸らしむ。○李穀、入見し、位を辭す。

赦し、改元す。○衞融、相と爲る。段信、樞密使と爲る。○七廟を立つ。○楊重訓、麟州を以て周に降る。○契丹、高勳を遣はして兵を將ゐて李存瓊に會して周を擊たしめ、潞州城下に至りて還る。○北漢主、契丹の恃むに足らざるを知る。而も敢て邊に之を絶たず。○陳處堯、契丹

許さず。○汴水を疏して五丈河に入れ、齊魯の舟楫を通ず。○太祖、義成を領す。○唐令格式を修定す。○津の郭廷謂、武行德を定遠に敗る。○王祚、客有り、溥、朝服して侍立す。○李繼勳を黜く。○武行德・李穀、相を罷む。○李王朴、樞密使と爲る。○竇儀、通禮・正樂を修めんと請ふ。○又請ふ、三省の官を以て政事を權知せしめ、職に稱はば則ち之を相とせんと。○班行、員有り、職無き者は、悉く外任に除し、其能否を試みて、之を黜陟せんと。○復た制舉を置く。○北漢の楊重訓、麟州を以て降る。○帝、自ら將として唐を伐ち、濠州を攻む。○唐の兵を十八里灘に敗り、又、之を洞口に敗る。遂に東のかた泗州を攻む。○北漢・契丹、潞州に寇す。○泗州降る。○帝、劒璽の者を禁ず。民爭ひて劒璽を獻ず。一卒の敢て擅に泗州に入る無し。

より來りて晉陽に邀ぶ。

不忠の門から爲んと。何の面あり、士を見て將士、陳覺、朱元降る。其の兵を奪ふ。元、周に叛き、惡逆を諫めむ。○許文稹、紫金山に許文稹、邊餉を遣はして、春を救ひ、紫金屯に甬道を築き、餉す。周に餉ゆ。○齊王景達、許文稹、邊餉を遣はして、壽

○帝追ひて唐の兵を楚州に敗り、陳承昭を擒にす。遂に楚州を攻む。○連水降る。○武守琦、楊州を取る。○泰州を襲ひ、之を抜く。

○周の將仁贍、佐州の劉表を以て降る。○周の將寿州を定む。遠行、周の郭延德を敗る。○周の主、濠州に寇す。○周の郭延謂、命を奠けて降る。○泗州、周に降る。○周の將李延壽、上表して降す。○鄧州、李延壽、表を上して降す。○周の將楊承昭、楚州を陳に敗り、淮擒す。○周の將楊廷璋等、楚州を攻め、岸に上り、周の唐に會して、唐の州の南に屯す。

邵可遷・彥銖、通路を割き、江を渡りて臣たり。乃ち唐を伐つて、周に會して、唐に至り、城に下りて還る。○再び書を以て蜀に諭し、蜀に周に臣たらしむ。聽かず。乃ち兵を發して三峽に趣かんと請ふ。

魏璠、周に會して、唐を伐ち、鄂州に至る。○楊州、民を徙し、度らして江を焚く。○連水、周に降る。○周の將王漢璋、海州に克ち、鵝水を鑿ち、戰艦を引き、淮より江に入る。○泗州、周に降る。○周の將李昭遠・吳奸指、侯を坐し、貶せらる。○周の李筠等、石會關及び孝義を破る。

○周の將李筠・王昭遠・吳奸指、侯を坐し、貶せらる。○周の李筠等、石會關及び孝義を破る。

○帝、楊州に如く。○小城を築く。○司超等、舒州を破り、施仁望を擒にす。○北漢、隰州に寇す。楊廷璋等、之を敗る。○帝、泰州に如く。○又、迎鑾に如く。

五

匡國軍を廢す。○王漢璋、海州に克ち、鵝水を鑿ち、戰艦を引き、淮より江に入る。○靜海軍を拔く。○帝謂ふ、尹日就、吳越に使す。必ず陸より歸らんと。○楚州を拔く。○唐の易文贊、天長を以て降る。

○易文贊、天長を降す。○周の將王環、楚州を取る。○靜海軍を取る。○卿固守す。○城陷り、楚州所部千餘人、死す。○周の將王彥卿、楚州を取る。○中興と改む。○元海、又、泰州を取る。

交泰元

二十一

南漢恩赦侯鋹大寶元

中宗殂す。長子興、衞王を立つ。繼名を鋹と更め、國事、澄決に襲ぐ。皆、樞等に決す。○中宗を葬る。

卷第二百九十四

著雍敦牂

三、壬午。五、辛巳。七、庚辰。八、己卯。十、戊寅。十一、丁未。八、一日、秋分。十一、五日、冬至。○本志に、五月辛巳朔、食す。六月乙丑望、食し、斗牛に在

り。

○慕容延釗等、唐の兵を東沛州に敗る。○唐主、陳覺等を遣はし、來りて、位を太子に傳へて命を聽かしめんと請ふ。○覺、表を取りて廬舒蘄黃を獻ぜんと請ふ。帝、之を許す。○唐主、江を畫して境と爲さんと請ふ。詔して之が爲めに兵を罷む。○帝復た楊州に如く。○保信軍を置く。○宋延渥に命じて江を巡らしむ。○楊行密・徐溫の爲めに守冢戶を置く。○汴水を浚ひ、江淮の運復た通ず。○新太廟成る。○郭崇、契丹を攻め、東城を拔く。○鍾謨・馮延魯を遣はして金陵に使せしむ。○歲ごとに鹽三十萬斛を以て江南に給す。○李筠等、北漢の石會關及び孝義を破る。○初めて刑統を行ふ。○均田圖を頒つ。○留從効、藩と稱せんことを求む。○曹彬、吳越の饋遺を受けず。○蜀を伐たんと謀る。○艾穎等に詔して田租を均し

くせしむ。○初めて百戶を以て團と爲し、三者長を置く。○帝、木を刻して耕夫・蠶婦を爲り、殿庭に置く。○宋延渥、江を巡る。○竇儼に命じて通禮を編せしむ。○李玉、蜀の歸安鎭を襲ひ、敗れて死す。○課戶・俸戶を罷めて州縣に歸し、初めて幕職・州縣の官に俸祿及び米麥を給す。○帝謂ふ、唐の周續、命を拒むは、乃ち忠臣なり。朕、天下の主と爲り、豈に人に教へて忠臣を殺さしめんやと。

○覺、江を畫して境と爲すに以て周に降る。○周の司徒舒蘄黃州超等、破り、施仁を望む。○赦す。○改元す。○太弟景遂、表して王位を燕王に讓る。○周の歸安鎭承襲李弘冀を擊ち斬る。○李玉、鎭を

○又、陳與主、唐主、常夢自為小錫○常朝、笑と自ふ周を・ぜ周遺馮、延鍾らは來太むてを魯模○す小錫○

○覺に國にに國にて復た讀○く大進○初殺景冀○しし魯模○す小錫○

と、唐を勸む宋を齊舉げ丘、中、談、禁け授宋九放置に置を梁奏殺す。を晉孚弘毒王寶遂、太むてを・周を朝、笑と自ふ周を・ぜ周遺馮、延鍾らは來太むてを魯模○す小錫○

齊丘縊れて死す。常主、唐

二十二

李昪、武

二

鍾允章、

屠維協洽

六

安審琦、家僕に殺さる。

三

契丹、北

○請覆模し續矯王○草肯○せ釋に但にて國にに覺に

を徵に覺に置を放九宋ふせ、むをめの疊せて陳ょ老居だ授宋を勸、と

賜古置を放九宋ふせ、むをめの疊せて陳ょ老居だ授宋を勸、と

ふにき宣ち華齊。ん之。斬、命、す詔喬とをり禁け齊舉む唐主、陳

。死、州、山丘とを鍾ら周を周。を、。談、中、丘げ、唐主與

二、丙子。
五、乙巳。
七、甲辰。
九、癸卯。
十一、壬寅

○王朴謂ふ、禮以て形を檢し、樂以て心を治む。形順に心和して、天下治まると。
○朴、律準を獻じ、以て雅樂を定む。
○朴、汴水を行り、斗門を立つ。
○汴水を浚ひ、汴を導きて蔡に入れ、五丈渠を浚ふ。
○田稅を減ず。
○帝、民に米を貸して曰はく、安んぞ子倒懸して父解かざる有らんやと。
○王朴卒す。帝、玉鉞を以て地に卓して哭す。
○帝、滄州に如き、契丹を擊つ。
○乾寧軍降る。
○帝、舟に乘り、諸將に命じて水陸俱に進おしむ。
○益津關降る。
○帝、陸に登りて西し、野次の宿衞、一旅無し。胡騎敢て近づかず。
○瓦橋關降る。
○莫州・瀛州降る。
○帝、將に幽州を攻めんとし、不豫にして止む。
○孫行友、易州を拔く。
○雄霸州を置く。
○李重進、北漢の兵を百井に敗る。
○帝、大梁に還る。
○李筠、北漢を擊ち、遼州を漢に命じて周の邊を撓さしむ。會〻周主、南に歸りて止む。
○周の李重進、入寇し、北漢の兵を百井に敗る。
○李筠、入寇し、遼州を拔く。

夢ざるに錫
ざるに及が
むば見
○周の守備を主
ちし修、
め乃に及び戍す
守に都
備に徙
主を豫
修
乃に及び戍す
に都
徙を豫
乃に及び戍す
に都
徙を豫
乃に及び戍す
に都
徙を豫

國譯資治通鑑目錄下終

丹の使者。丹を殺す。契丹、遂に絶つ。

昭和五年五月十二日印刷
昭和五年五月十五日發行
昭和五年六月十六日再版發行

續國譯漢文大成 經子史部 第十八卷

（岡本製本）

【非賣品】

著作權所有

編輯兼發行者 國民文庫刊行會 東京市神田區小川町一番地
右代表者 鶴田久作 東京市本郷區西片町十番地
印刷者 吉原良三 東京市牛込區早稲田鶴巻町百七番地
印刷所 康文社印刷所 東京市牛込區早稲田鶴巻町百七番地

發行所 電話神田（五三五番 八三八番） 振替東京一八五七二番 國民文庫刊行會

654
56

國立中央圖書館藏